

独創的アイデア創出人材育成プログラム

本研修を受講するにあたって

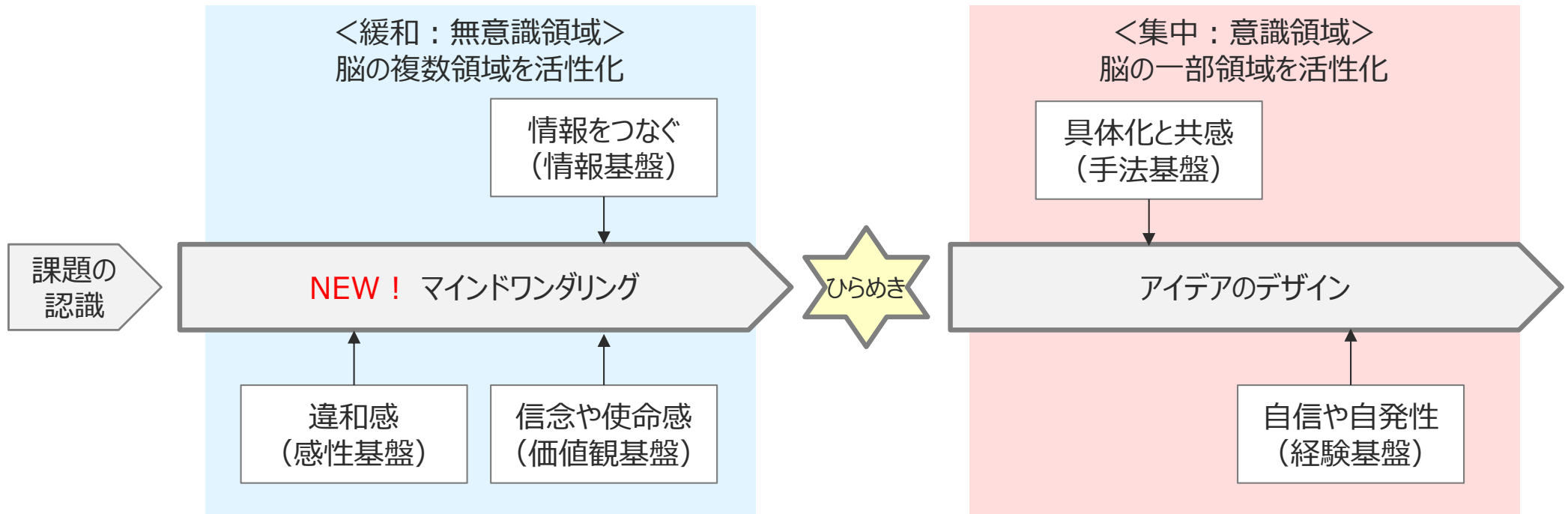
研修プログラム概要

本研修プログラムの概要

研修プログラム名	独創的アイデア創出人材育成プログラム(通称：創発人材育成プログラム)
研修目的	アイデア創発から具体化をする上で、必要となるベーススキル（5つの基盤）の体験を通じて、習得する
主な研修内容	<ol style="list-style-type: none">① 導入研修：研修の目的、全体像② 感性基盤：観察力を高め、感性（感度の高い社会アンテナ）を身に着ける③ 情報基盤：特定の情報に「反応」し、異なる情報と「つながり」を見出し、発想を「飛ばす」④ 価値観基盤：価値観に正解はないが、個人の解が、どのような思考に基づくか自認する⑤ 手法基盤：コミュニケーションのポイントを押さえ、相手の心を開く⑥ 経験基盤：否定的な考え方を肯定的に変え、発展的な行動を思いつく⑦ まとめ＆振り返り研修：5つの基盤のまとめ、振り返りと習慣化に向けたポイント
研修対象者	<ul style="list-style-type: none">・ 現在新規事業に携わっている、もしくは今後携わる可能性のある一般企業の方・ 将来的に起業をしたいと考えている方・ その他、新たな企画、取組を検討されている方 など
研修教材	<ul style="list-style-type: none">・ 研修テキスト：上記①～⑦までの研修テキスト及びワークシート・ 研修動画：上記①～⑦までの研修内容を録画した動画 ※本研修動画は、令和4年2月13日、2月20日に実施した研修を録画・編集した動画となります。・ アイデアノート：5つの基盤の習慣化に向けたアイデアノートフォーマット

ひらめきをデザインする、5つの基盤

- 「アイデアの創発プロセス（What to design）」をイノベーション事例で分析し、5つの基盤を抽出。マインドワンダリングで感性・価値観・情報を働かせ、経験・手法を用いてアイデアをデザイン。



- ある課題やニーズに対し、感度の高いアンテナ（感性基盤）と、情報連鎖の機能（情報基盤）に、信念や使命感（価値感基盤）が加わることで、独自のアイデア（ひらめき＝新事業のタネ）が得られる。
- 独自のアイデア（ひらめき）は、説得プロセスを用いて具体化し、周りの共感を得る（手法基盤）。
- 最後に、過去の実績や個人の強みを土台に意思の力を発揮し（経験基盤）、具体的な事業開発に向けて1歩踏み出す。

本研修プログラムのコンセプト：創発人材に求められるスキル

- 新事業を立ち上げた人達（創造性人材）へのインタビューにより共通する特長的行動を「5つの基盤」として抽出しており、5つの基盤（ベーススキル）の向上を目指したトレーニングプログラムを提供させていただきます。

アイデアの 創発プロセス	創発人材の行動（役割）	必要な5つの基盤（ベーススキル）	本プログラムの到達目標
アイデアの創発プロセス マインドワンダリング （もやもや状態） ひらめき アイデアの 具体化	社会の潮流を捉えて、その変化や違和感に気づく	①感性基盤 ・先入観に囚われない多面的な観察力 ・観察・描画を通じて発見・疑問を得る力	・研修期間中に会える事柄や人間の変化、違和感を列挙できる
	特定の情報に反応し、その他の情報とつなぐ	②情報基盤 ・情報に対する感情や自分との関係性、情報間のつながりを整理できる論理力	・関心のあるテーマの情報と、異なるテーマの情報のつながりを説明できる
	社会や物事に対し、こうあるべきという個人の信念や使命感を持つ	③価値観基盤 ・自身の価値観を自覚できる認識力	・価値観の背景や多様性を、尺度や理論を用いて整理できる
	アイデアを「言葉」で表し、他者の共感・協力を得る	④手法基盤 ・相手の状況を踏まえ価値を訴求する対話力 ・信頼関係と対話に基づいた提案力	・対話・提案における自身の課題と改善策を説明できる
	経験に裏打ちされた自信に基づいて、自発的に新しい取り組みを実行する	⑤経験基盤 ・物事を肯定的に捉えられる思考力	・過去の否定的なイベントを肯定的に捉え直し、発展的な行動を列挙できる

本研修を利用されるにあたって

- 本研修プログラムは、導入研修、5つの基盤研修、まとめ&振り返り研修の構成となっており、グループワークを中心とした内容となっています。

研修形式	
導入研修	<ul style="list-style-type: none">• 研修の全体像、コンセプトの説明
5つの基盤研修 + ワークシート	<ul style="list-style-type: none">• 5つの基盤の習得を目的にしたコンテンツ• それぞれ、イントロダクション、個人ワーク、ペアorグループワークの構成
まとめ&振り返り 研修	<ul style="list-style-type: none">• 5つの基盤のまとめと振り返り• 5つの基盤の習慣化に向けたポイントを解説

受講の仕方
個人で受けられる方
<ul style="list-style-type: none">• 本研修は、グループワークを中心とした内容となっているため、5つの基盤の各研修において、イントロダクション、個人ワークまでを受講いただければと存じます。• グループワークにおいては、動画をご視聴いただき、流れをご理解いただける内容となっております。
グループで受けられる方
<ul style="list-style-type: none">• 個人の方で、複数名で受講できる方、企業内研修等で活用される方は、イントロダクション、個人ワーク、グループワークまでの一通りを受講いただけます。• 研修動画をご視聴いただきながら、流れに沿って、受講してください。

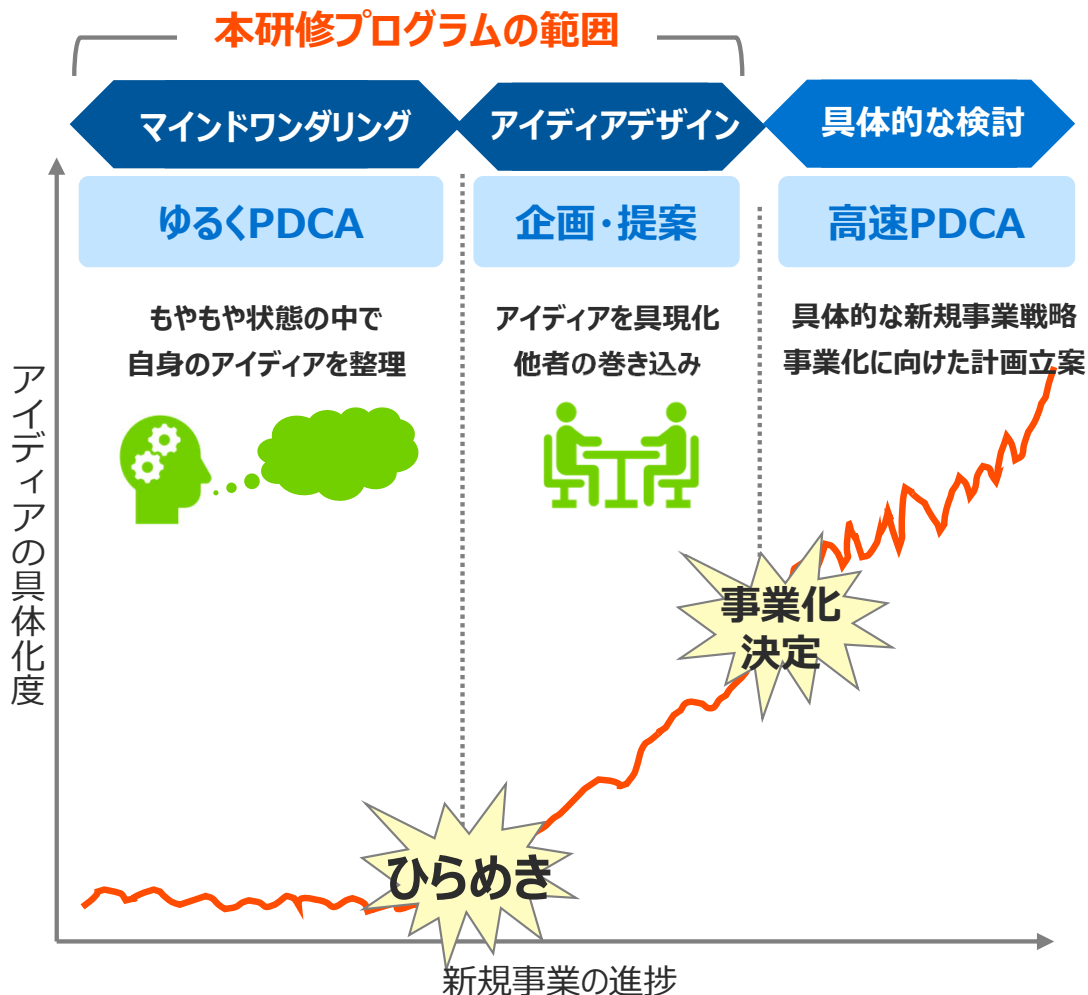
研修プログラム一覧

- 本研修プログラムの構成と目安時間は以下の通りです。

	コンテンツ	目安時間
1	導入研修 イントロダクション&アイスブレイク	25分
2	①感性基盤 観察力を高め、感性を身に着ける	90分
3	②情報基盤 特定の情報を「意味づけ」し、異なる情報と「つながり」を見出し、発想を「広げる」	90分
4	③価値観基盤 社会や物事に対し、こうあるべきという個人の信念や使命感を持つ	90分
5	④手法基盤 コミュニケーションのポイントを抑え、相手の心を開く	90分
6	⑤経験基盤 否定的な考え方を肯定的に変え、発展的な行動を思いつく	100分
7	まとめ&振り返り研修 5つの基盤のまとめと習慣化に向けたポイント	20分

本研修プログラムの位置づけと受講いただく上でのポイント

- 本研修の位置づけは、アイデアひらめくまでの「マインドワンダリング」から「アイデアをデザイン」して、他を巻き込み、事業化の検討をスタートさせるまで。
- 本研修では、「もやもや」することが多いと思いますが、気にせず進めていただければと思います。



ポイント①

本研修は、新規事業の戦略を考える研修ではなく、アイデアデザインまでの創造性を高める位置づけ・内容としていただきますので、気軽な気持ちで受けていただければ幸いです。

ポイント②

『答えがない』『きれいにまとまらない』ワークであるため、「理屈」を捨てて、取り組んでいただければと思います。

ポイント③

グループワークを実施する際は、抽象的に整理する脳を捨てて、発言してください。また参加者の発言に対し、前向きな発言をし、お互いにポジティブなマインドが醸成できる場づくりを心がけてください。

ポイント④

5つの基盤の体験を通じて、自身の良い点・改善点を見つける内容となっておりますので、習慣化のポイントをご理解いただき、日常的に意識づけをしていただければ幸いです。

各基盤研修の概要

①感性基盤の研修目的・実施内容

研修で得られる効果・目標

- 日常における観察を通じ、多様な視点と気づきを得て、仮説形成のきっかけをつかむ。
- 先入観に捉われない多面的な観察力や観察を通じて、気づきや疑問、発見を得る力を身に付ける。

実施内容

	テーマ	内容・ファシリテーションのポイント	目安時間
1	イントロダクション	感性基盤のコンセプト説明及び習得のプロセス ・身の回りの環境を改めて見つめなおすことの重要性を説明する	15分
2	個人ワーク	日常で違和感を感じた場面を写真撮影し、気づきを記載する ・事前課題を通じ、日常における気づきを意識的に探索する姿勢を促す	5分
3	ペアワーク	撮影したイメージと気づきを他者へ共有し、仮説を言語化する ・他者との議論によって獲得される物事の深堀や視点の広がり进行评估する	30分
4	終わりに	感性基盤のまとめ及び習慣化へむけて ・気づきメモの記録形式には拘らないことを伝え習慣化のハードルを下げる	3分

②情報基盤の研修目的・実施内容

研修で得られる効果・目標

- 情報基盤は、「自身の感性により情報を“意味付け”し、他の情報と“つなげる”ことにより、新しいストーリーを“広げる”」というアイデア創出に欠かせないスキルである。
- 世の中にあふれる情報において、「意味付ける」「つなげる」「広げる」の一連の流れを体感することで、情報に対する感情や自己との関係性、情報間のつながりを整理できる力を身に付ける。

実施内容

	テーマ	実施内容	目安時間
1	イントロダクション	情報基盤の内容・ポイントの説明 ・創造性は情報のつながりによって生まれることを理解する	5分
2	テーマ1「意味づける」	特定の情報に対して、「意味づけ」を行う ・「意味づけ」することにより情報に価値が生まれることを理解する	25分
3	テーマ2「つなげる」	テーマ1の情報と他の情報を「つなげる」 ・「意味づけ」することにより情報に価値が生まれることを理解する	30分
4	テーマ3「広げる」	テーマ1と2の情報と他者の情報を基にストーリーを「広げる」 ・新たな視点を入れることで更なる創造性が生まれることを理解する	25分
5	まとめ・クロージング	情報基盤のまとめ及び習慣化へむけて ・情報を意味づけ、つなげ、そして、広げることを習慣化ノートを使って、日々実践する	5分

③ 価値観基盤の研修目的・実施内容

研修で得られる効果・目標

- 事業構想のバックボーンになる社会課題への感度、認識の高さを形成する。
- 物事の是非、正しさに関する論拠、論理構成、依って立つ立場などを学んで気づきを得、社会課題とその解決処方箋について自分なりの判断基準を持つ。

実施内容

	テーマ	実施内容	目安時間
1	イントロダクション	価値観基盤の内容・ポイントの説明 ・独創的アイデア創出に際して自分の価値観を認識することの重要性を理解する	10分
2	ディスカッションテーマ①	「ギフテッドの教育」についての議論 ・直感的判断の背景にある自分の価値観に気づく、他者との共通点・対立点を認識する	35分
3	ディスカッションテーマ②	「安楽死」についての議論 ・直感的判断の背景にある自分の価値観に気づく、他者との共通点・対立点を認識する	35分
4	おわりに	価値観基盤のまとめ及び習慣化に向けて ・日常的に価値観基盤を強化する方法について理解する	10分

④手法基盤の研修目的・実施内容

研修で得られる効果・目標

- コミュニケーションのポイントを押さえ、人・法人・社会に対して自己のアイデア・考えを伝える手法、相手の心を開く手法を学ぶ。
- 相手の状況を踏まえ、価値観を訴求できる対話力、信頼関係と対話力に基づいた提案力を身に付ける。

実施内容

	テーマ	実施内容	目安時間
1	イントロダクション	手法基盤の内容・ポイントの説明 ・自己のアイデアを伝え、他者を巻き込むために必要なコミュニケーションのポイントの理解	20分
2	グループワーク①	日常の対話を通じた手法基盤の会得 ・ケーススタディを通じたコミュニケーションのポイントの体験	30分
3	グループワーク②	非日常の対話（プレゼン）を通じた手法基盤の会得 ・ケーススタディを通じたコミュニケーションのポイントの体験	35分
4	おわりに	手法基盤のポイントの確認と習慣化に向けて ・コミュニケーションのポイントの振り返りと日常的に手法基盤を強化する方法について	5分

⑤ 経験基盤の研修目的・実施内容

研修で得られる効果・目標

- 「経験基盤」とは実績から生まれる自信により一歩踏み出す能力である。
- 自己の能力の客観視と実現したいことにおける課題の明確化により、否定的な考え方を肯定的に変え、発展的な行動を思いつくようになることを目標とする。

実施内容

	テーマ	実施内容	目安時間
1	イントロダクション	経験基盤の内容・ポイントの説明 ・新たな取組を実施していく上で、重要となる自身の能力と課題解決行動の理解	5分
2	ワーク①	自身の能力の客観視 ・過去を振り返り、自身の経験に基づく能力の可視化方法の理解	40分
3	ワーク②	課題解決実践 ・実現したいことに対するギャップの抽出と課題解決に向けた検討方法	40分
4	おわりに	経験基盤のポイントの確認と習慣化に向けて ・自己の能力の客観視と課題解決における振り返りと経験基盤の習慣化の理解	3分